

わたしたちの
ゼミへようこそ

辻ゼミ

IZUMI TSUJI
SEMINAR

モットーは

「好きこそ物の上手なれ」



辻ゼミとは

文学部社会情報学専攻情報コミュニケーションコースのゼミで、日常生活で身近に楽しんでいるもの、接しているものを、あえて振り返って研究対象にし、深掘りしていくゼミです。

人一倍、何か好きなものがある、メディアに関心がある、そういった学生たちが集まっているアットホームな雰囲気です。全体的に真面目で賢いけれど、ユーモアもある学生が多く、学生と先生との距離も近いので、毎回の授業が非常に色濃く楽しいです。

また、辻ゼミは意見交換やディスカッションをよく行います。その度に、みんながさまざまな視点で盛んに意見を出し合うため、他の人の意見をヒントに自分の発表を見直すこともできて、お互いに高めあえる空間です。

身近な「好き」を大真面目に研究対象と捉えて皆で深く考えていく、そんなゼミです。

ゼミに入ったきっかけ

私は幼いころから男女問わずアイドルが好きで、追い始めると底なし沼のオタク気質でした。そして中央大学に進学を決める際に、ジャーニーズについて研究されている辻教授がいらっしゃることを知り、入学前からこのゼミに入る！と、決めていました。自分の好きなことを、ただ好き！で終わらせるのではなく、以前とはまったく異なる視点で研究することに興味を持ちました。さらに、ガイダンスでゼミの情報を読み、辻ゼミ生は幅広いジャンルのオタクの精锐集団だと感じました。なかでも、辻ゼミの紹介動画で披露されていたお笑い芸人のパロディネタを見て、メディアが好きならうえに映像作成までできるゼミ生がいることに魅力を感じました。

ただし、ゼミに入るにはエントリーシートを提出する必要があります。入学前から辻ゼミに入ろうと誰よりも意

気込んでいたのは私だけ！という自信と、オタクの熱意を全力で文章にし、無事に念願の辻ゼミに入ることができました。

ゼミの活動

辻ゼミでは卒業研究論文、卒業論文に向けた各自のオリジナル研究報告と、文化社会学やメディア論に関する文献の講読を行います。文献講読では、ゼミ生で要約者とコメントーターを分担し、いくつかの論点に対してディスカッションします。卒論に向けたテーマはあらかじめ3年次に決め、卒論の構想発表を行います。卒論の作業を早くから始めるのは、より練成されたものを作り上げるためであり、また、就活に対応するためでもあります。そして、構想発表では、発表そのものももちろん、その後の質疑応答がとても重要となります。辻ゼミはオタクの精锐集団なので、鋭い質問や多角的な視点からの意見がたくさん飛び交うからです。3年次は、それをもとに卒論のテー

Report

さいとう りな
齊藤 里奈

文学部人文社会学科
社会情報学専攻3年
私立淑徳与野高等学校
(埼玉県) 出身

マをブラッシュアップしていきます。私自身は大学に通いながら雑誌や広告のモデルとして活動しているので、その経験を生かしてアイドルの描かれ方や見られ方にフォーカスした研究を行うおうと考えています。

4年次になると、いよいよ本格的に卒論執筆がスタートします。それぞれオリジナルのテーマと現代社会との関わりについて各種の資料にあたり、実証的な調査をしながら考察し、まとめていきます。

また、年に何度か辻ゼミのOG、OBの方をお招きし、就職活動や現在の職業について貴重なお話を聞く機会も設けられています。

辻ゼミの魅力

辻ゼミの一番の特徴は、さまざまなジャンルのオタクの精锐集団であることです。ただ好きなだけでなく、研究のテーマとして好きなことを学問的な視点で捉え、精度の高い論文を仕上

Message!

優等生よりも個性派であれ

つじ いずみ
文学部教授 **辻 泉**

辻ゼミは、文化とメディアをこよなく愛する精鋭たちの集うゼミです。アイドル、アニメ、ゲーム、SNS、ファッションなど、ゼミ生たちは強いこだわりを持った自分たちのフィールドを持っています。でも、単なるオタク集団ではありません。卒論でも就活でも、しっかりとした成果を上げて、立派な社会人となって巣立っていきます。

こうしたゼミの方針は、私自身の専門分野もさることながら、「大きく変わりゆくこれからの成熟した社会を生き抜いていくのは、定められたエリートコースのルールに乗せられるだけの優等生よりも、個々のフィールドで臨機応変に自分の力で戦える個性派である」という強い信念によります。

ゼミ生たちは、自分だけのフィールドを持ちつつも、そこに閉じこもることなく、そうした現象と現代社会との関わりを、文化社会学やメディア論の視点から深く考察していきます。ゼミ生同士で協力しながら、時に難解な文献を読み解き、時に実態調査を行い、各自の研究を仕上げていきます。教員が驚くような発見がなされることも多く、約10年間にわたって優秀卒論に選ばれる論文が出続けているのも、そうした努力の賜物です。

就活でも進む業種はさまざまですが、卒業後も「好き」な文化のフィールドに関わり続けている人が多いのは、辻ゼミ生らしさだと思います。

今年度から年に数回、こうした卒業生をゼミに呼んで、就活と卒論のアドバイスをしてもらっていますが、これが大好評でした。これからも、文化を大好きな人々が集い、研鑽を重ねる「プラットフォームとしてのゼミ」を続けていこうと思っています。



撮影:工藤 博司



オンラインでのゼミの授業の様子

上げていきます。皆、それぞれ好きなものがあり、それへの熱量が高いので、ディスカッションが非常に色濃く盛んなのも特徴です。各々の研究テーマがバリエーション豊かで、自分が研究するだけでなく、周りのゼミ生の発表を聞くだけでも新たな知見を得られることが多く非常に勉強になります。

また、先生とゼミ生の距離が近く、アットホームな空間であることも辻ゼミの特徴です。先生は個人に対して丁寧かつ熱心に指導してくださるので、迷って立ち止まることがあっても心配無用です。私たちゼミ生の希望の研究を後押ししつつ、困ったときには指針

を示してくださいます。時には、授業に寝坊して遅刻した学生を厳しく叱責するのではなく、「ちようどみんなもやったところだから、一発芸お願ひします!」などと、ジョークやら無茶ぶりやらでゼミ生を楽しませてくださるユーモアあふれる一面もお持ちです。

そして、辻ゼミは就活支援も非常に手厚いです。さまざまな業界にOG、OBがおり、先にも触れたとおり年に3、4回ほど就活のアドバイスをしていただけの機会があります。出版、広告業界、マスコミ業界など多様な業種の先輩方が就活の指針や、何から始めるべきか、何を目標に就活するのかな



辻ゼミ紹介動画
312 回視聴 - 11 か月前

ゼミのOBの方をお招きした会

ど教えてくださいます。早い段階で就活について考える機会があることで、就活に対して高い意識を持つことができ、着実に進めていくことができます。今年はずでに某有名出版社の方や、広告系の企業の方をお招きしており、貴重なお話を聞くことができました。

辻ゼミは、ゼミの活動も、就活も、自分の趣味も、すべてに注力し、それをみんなが互いにサポートしあえる素敵なゼミです。趣味を研究に生かした人、オタクの人、とにかくやる気がある人!辻ゼミでお待ちしております!